

1. 理事会の活動 ①理事会の審議(主要審議事項)

- 第142回理事会 (平成30年2月2日)
 - ✓ 定款の変更及び認可申請について
 - ✓ 業務規程の変更及び認可申請について
 - ✓ 平成30年度予算及び事業計画の決定並びに認可申請について
- 第144回理事会 (平成30年2月14日)
 - ✓ 新入職員技術研修業務委託に関する入札の落札者決定について
 - ✓ 広域機関主宰 電源接続案件募集プロセスの結果及びその公表について
(福島県白河エリア、福島県浜通り南部エリア)
- 第145回理事会 (平成30年2月21日)
 - ✓ リプレース対象廃止計画のリプレース該当可否判断について
 - ✓ 2018～2027年度の連系線の運用容量について
- 第146回理事会 (平成30年2月28日)
 - ✓ 広域機関システムのシステム基盤強化のリース及びリース先の選定について
 - ✓ 広域機関主宰 電源接続案件募集プロセスの結果及びその公表について(福島県沢上エリア)
- 第147回理事会 (平成30年3月7日)
 - ✓ 役員退職手当規程の変更について
 - ✓ 広域機関主宰 電源接続案件募集プロセスの結果及びその公表について(宮崎県紙屋エリア)

1. ②会員への指示(1月24日～26日、2月2日、22日の東京エリア需給悪化) 2

○強い寒気の影響により需要が増加した状態が1週間以上継続し、さらに複数の火力発電所の計画外停止が影響して供給力が減少しました。その結果揚水発電所の発電量の減少が見込まれ、広域的な融通を行わなければ、電気の需給の状況が悪化するおそれがあったため、本機関は、業務規程第111条に基づき1月23日から26日、2月1日から2日及び22日、北海道電力、東北電力、中部電力、北陸電力、関西電力、中国電力及び九州電力から東京電力パワーグリッドに対して最大263万kWの融通指示を行いました。

◆需給予想 (融通なし)

前回報告済 ← → 今回報告

		1月22日(月)	1月23日(火)	1月24日(水)	1月25日(木)	1月26日(金)	2月1日(木)	2月2日(金)	2月22日(木)
気象予報		4℃/0℃ 曇りのち雪	10℃/-1℃ 晴	5℃/-2℃ 晴のち時々曇り	4℃/-4℃ 晴	4℃/-3℃ 晴	7℃/1℃ 曇りのち雪	4℃/-1℃ 雪一時曇り	8℃/2℃ 曇り一時晴
需給予想	発生時刻	18時	19時	19時	19時	19時	18時	10時	19時
	需要(万kW)	4,991	4,636	4,952	5,050	5,054	4,792	5,103	4,726
	供給力(万kW)	5,353	4,959	5,000	5,227	5,164	5,088	5,133	4,805
	予備力(万kW)	362	323	48	177	110	296	30	79
	予備率(%)	7.3	7.0	1.0	3.5	2.2	6.2	0.6	1.7

◆需給実績 (融通指示後)

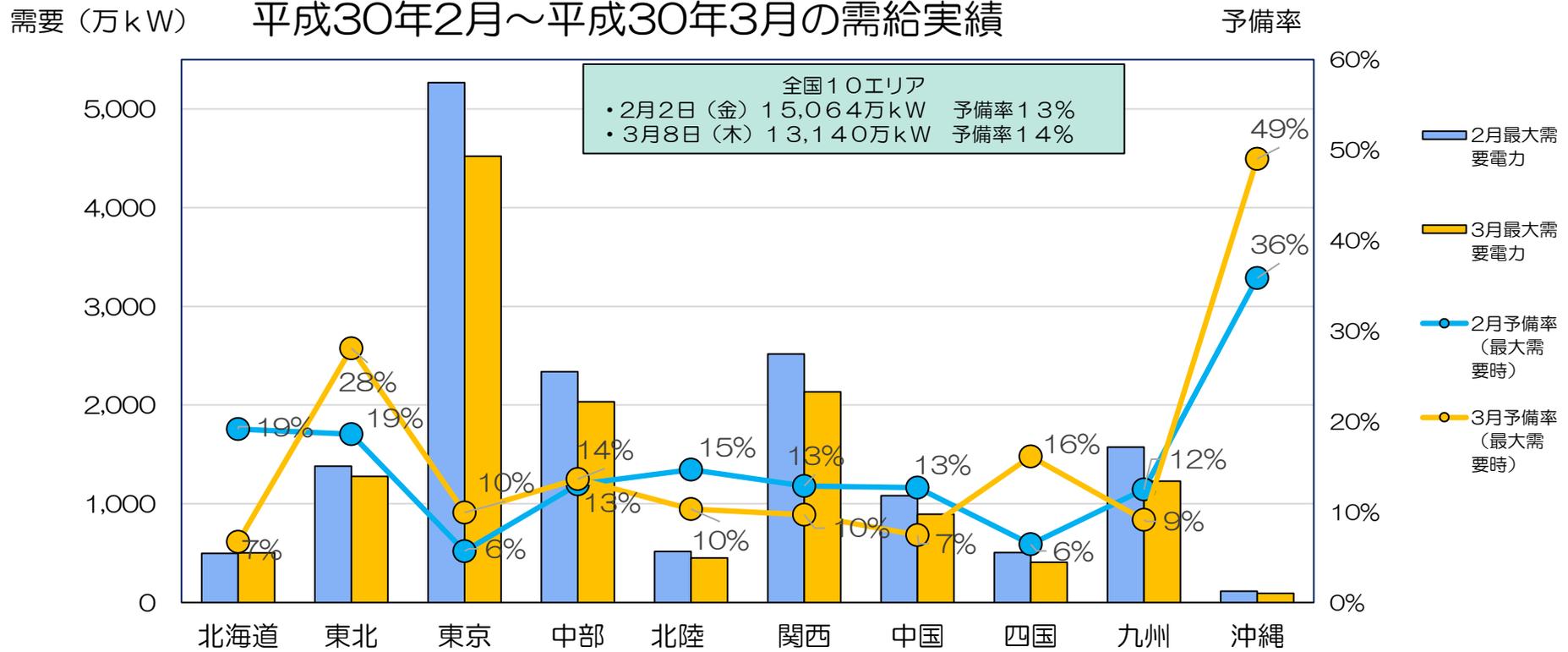
		1月22日(月)	1月23日(火)	1月24日(水)	1月25日(木)	1月26日(金)	2月1日(木)	2月2日(金)	2月22日(木)
気象実績		5.3℃/-0.5℃ 大雪一時曇り	10.0℃/-0.7℃ 快晴	7.3℃/-1.8℃ 晴	4.0℃/-4.0℃ 快晴	5.1℃/-3.1℃ 晴一時曇り	6.3℃/0.6℃ 薄曇りのち雨	3.8℃/0.5℃ 雪のちみぞれ 時々曇り	5.7℃/1.5℃ みぞれ一時雪 あられを伴う
需給実績	発生時刻	18時	10時	19時	19時	19時	18時	11時	18時
	需要(万kW)	5,101	4,641	4,927	5,110	5,124	4,978	5,266	4,810
	供給力(万kW)	5,368	4,854	5,188	5,302	5,371	5,207	5,564	5,065
	予備力(万kW)	267	213	261	192	247	229	298	255
	予備率(%)	5.2	4.6	5.3	3.8	4.8	4.6	5.7	5.3

融通指示	最大電力(万kW)	-	150	200	100	137	263	250	202
	受電量(万kWh)	-	235 (22時~24時)	2,919 (0時~24時)	686 (17時~24時)	2,190 (0時~24時)	1,274 (16時~24時)	4,576 (0時~24時)	1,030 (16時~22時)

※1月23日、25日、2月1日の融通指示は、翌日24日、26日、2月2日の予備率改善のため

※東京電力パワーグリッドは22日~26日、2月1日、2日、22日に電源I'を発電

3. 全国及び供給区域ごとの需要に対する適正な供給力の確保状況の評価に関する事項



最大電力実績 (2月～3月) (万kW)	498	1,380	5,266	2,339	517	2,517	1,081	506	1,575	114
厳冬H1 予想 (万kW)	516	1,386	4,960	2,364	512	2,421	1,041	477	1,521	117

※速報値を使用しているため、変わる場合があります。

4. スイッチング支援システムの利用状況

(単位:千件)

エリア	スイッチング開始申請件数 (平成28年3月1日からの累計)								
	H28 3/31 まで	H28 6/30 まで	H28 9/30 まで	H28 12/31 まで	H29 3/31 まで	H29 6/30 まで	H29 9/30 まで	H29 12/30 まで	H30 2/28 まで
北海道電力	19.8	63.2	94.7	129.2	164.6	233.7	268.7	307.9	331.0
東北電力	7.6	32.4	57.0	84.7	121.8	155.1	194.3	234.0	262.3
東京電力PG	315.2	762.5	1,083.1	1,443.8	1,813.8	2,185.8	2,613.1	3,035.1	3,333.6
中部電力	20.1	83.7	146.3	202.8	295.1	361.2	438.7	610.0	683.1
北陸電力	1.1	3.1	6.0	12.3	20.6	25.7	31.1	38.9	43.7
関西電力	132.0	260.5	380.9	517.9	721.5	900.2	1,089.2	1,275.5	1,421.8
中国電力	0.4	3.2	7.7	16.6	40.3	59.4	79.1	109.1	124.2
四国電力	2.0	5.8	11.9	21.0	32.9	47.4	63.9	82.9	95.2
九州電力	13.1	50.0	96.7	146.2	217.3	284.0	345.2	416.1	464.8
沖縄電力	0	0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
合計	511.3	1,264.4	1,884.3	2,574.5	3,427.9	4,252.6	5,123.4	6,109.6	6,759.8

251 千件/月 207 千件/月 230 千件/月 284 千件/月 275 千件/月 290 千件/月 329 千件/月 325 千件/月

5. ①広域系統整備委員会

■ 検討事項

定款第4条第1項の規定に基づき広域系統整備委員会を設置し、以下の事項を検討する

- (1) 広域系統長期方針に係る検討
- (2) 広域系統整備計画に係る検討 など

■ 概要スケジュール

項目	平成29年度				平成30年度以降
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
委員会開催実績・予定	★ ★	★ ★	★ ★	★ ★ ★	
広域系統長期方針	流通設備効率向上 潮流想定の合理化等に向けた取組の方向性検討		具体的な個別系統の評価等		想定潮流合理化等適用
			コネク特&マネージ*に関する課題・検討の方向性整理		具体的な課題対応等
	費用対便益評価	課題・方向性の整理	費用対便益 評価方法整理		具体的な評価手順の検討
アクセス業務のあり方 (情報公開、検討スキームなど)	課題の整理	方向性の検討	詳細設計		
中国九州間連系統	検討の方向性検討		コスト・効果確認	進め方の決定	
コスト等検証小委員会 (調達における基本的な考え方、東清水FC)	★ ★ 東京中部間調達の基本的な考え方の検証	★ ★ ★ 東清水FC発注方式の検証	★ ★ ★ 東北東京間調達の基本的な考え方の検証		東栄変電所のコスト等検証

※コネク特&マネージ：運用面を工夫することでできるだけ多くの電源を接続させる仕組み（詳細は参考資料参照）

■ 委員会の議事

開催回	議事	備考
第30回 (H30.2.14)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 広域系統長期方針（流通設備効率の向上） ➢ 計画策定プロセス開始要件適否確認 ➢ 基幹送電線の利用率の考え方と最大利用率実績（速報報告） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 流通設備効率の向上 想定潮流の合理化、N-1電制適用課題への対応、ノンファーム型接続の課題整理
第31回 (H30.3.9)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 広域系統長期方針（アクセス業務の在り方 費用対便益評価） ➢ 広域系統整備計画（中国九州間連系統） ➢ 基幹送電線の利用率の考え方と最大利用率実績（確報報告） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ アクセス業務の在り方 今後の検討の方向性 ➢ 費用対便益評価 ➢ 中国九州間連系統

取組	想定潮流の合理化	コネクト&マネージ	
		N - 1 電制 (N - 1 故障時瞬時電源制限)	アンファーム型接続 (平常時出力抑制条件付き) 電源接続
運用制約	原則、マネージなし	N - 1 故障 (電力設備の単一故障) 発生時に電源制限	平常時の運用容量超過で電源抑制
設備形成	<ul style="list-style-type: none"> ・接続前に空容量に基づき接続可否を検討 ・想定潮流が運用容量を超過で増強 		<ul style="list-style-type: none"> ・事前の空容量に係わらず、新規接続電源の出力抑制を前提に接続 ・主に費用対便益評価に基づき増強を判断
取組内容	想定潮流の合理化・精度向上 ・電源稼働の蓋然性評価 ・自然変動電源の出力評価	N - 1 故障発生時に、リレーシステムにて瞬時に電源制限を行うことで運用容量を拡大	系統制約時の出力抑制に合意した新規発電事業者は設備増強せずに接続
混雑発生	(平常時) なし	(平常時) なし	(平常時) あり
	(故障時) あり ⇒電源抑制※1で対応	(故障時) あり ⇒電源制限※2で対応	(故障時) あり

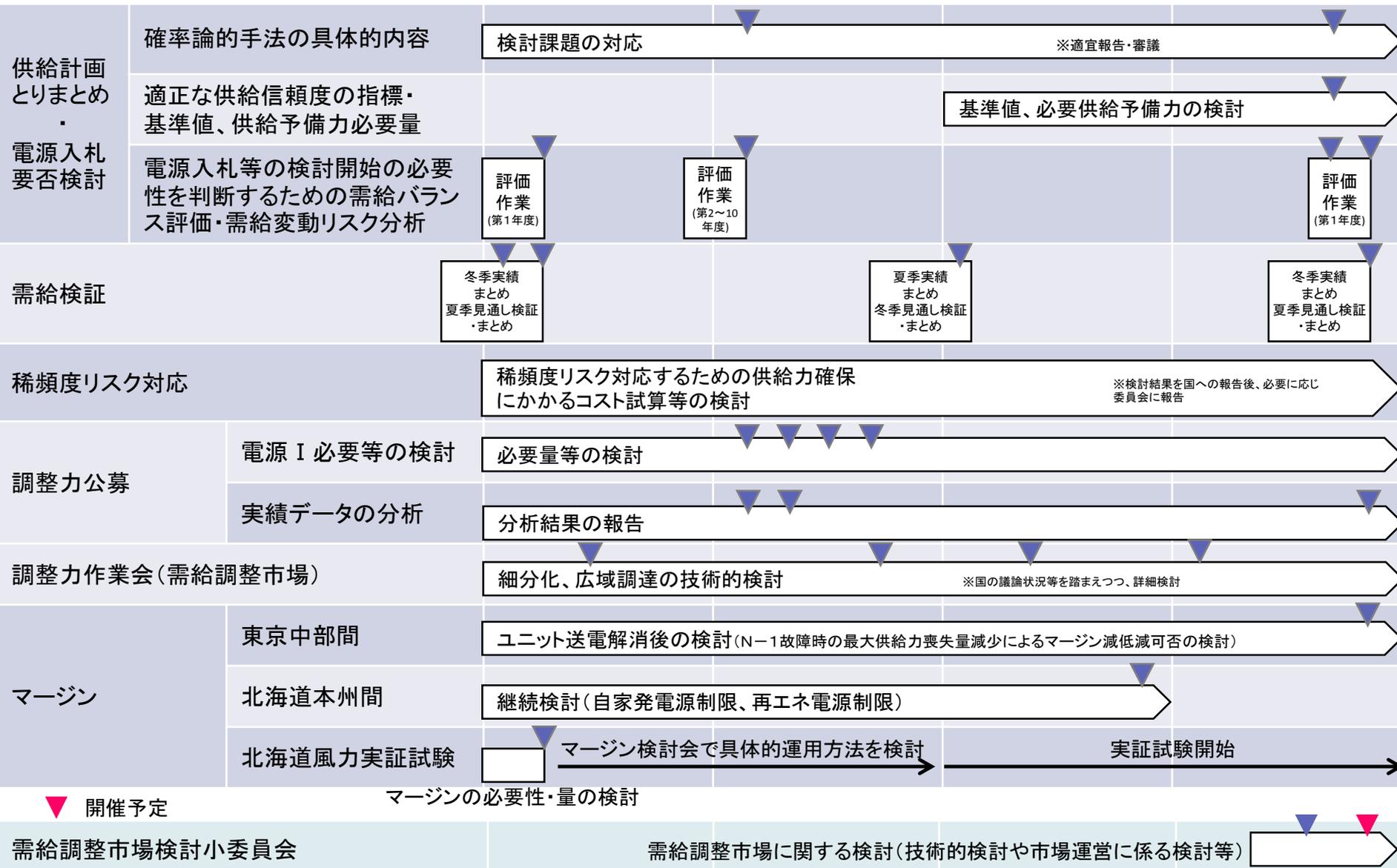
※1 給電指令による発電出力抑制

※2 リレーシステムによる瞬時の発電出力制限

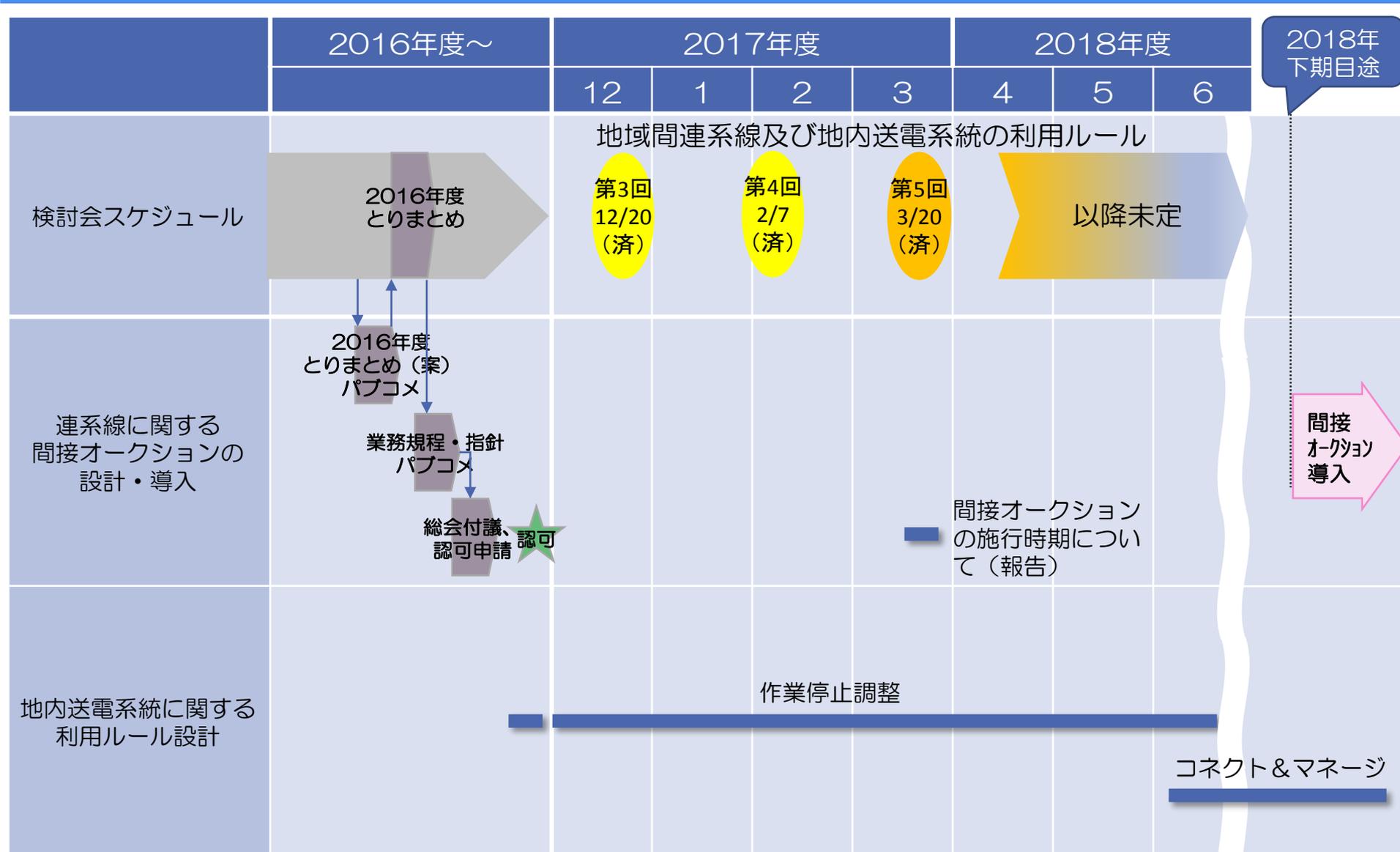
5. ②調整力及び需給バランス評価等に関する委員会

▼ 委員会での審議・報告

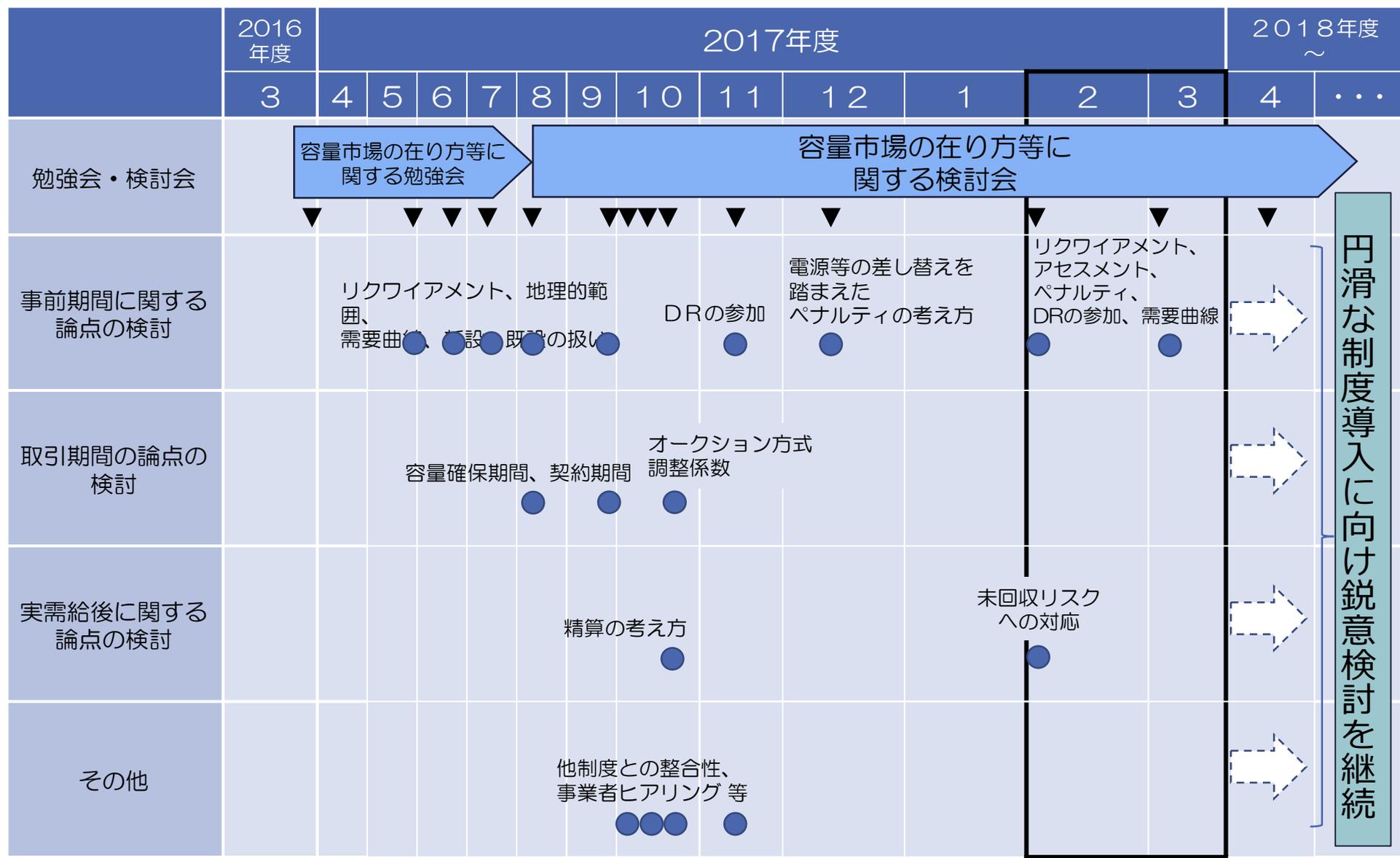
第1Q 第2Q 第3Q 第4Q



5. ③地域間連系線及び地内送電系統の利用ルール等に関する検討会 8



5. ④容量市場の在り方等に関する検討会



円滑な制度導入に向け鋭意検討を継続

5. ⑤情報セキュリティに関する取組み

<計画と実績>

